

日本庭園技術特論 (2単位)

担当者氏名 小林 章・尼崎博正

◆学習・教育目標

日本庭園の技術について学ぶ。まず日本庭園の本質を見極め、特性を認識する。技術の範疇は立地選択から空間構成、意匠、素材、施工法、管理等にまで及ぶ。技術・意匠の歴史性として、技術の展開を伝統的日本庭園における具体例により総合的に検証する。文化財庭園の保存修復技術についても学ぶ。

また技術・意匠の地域性として、江戸（東京）と金沢の大名庭園を事例に、地域の地形と水、素材を活用する技術を中心に学ぶ。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

日本庭園 技術 意匠 歴史性
地域性 自然 近代庭園 文化財庭園

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	日本庭園の本質	日本庭園は壮大な自然の輪廻と創造的な人の営みの融合。不易と流行。作庭時からの時の経過による変化の認識。発掘調査による解明。	
2	技術の根底にあるもの	「作庭記」と「築山庭造伝 前編」の比較検討と、京都迎賓館の作庭を通じ、「技術とは何か」。	
3	技術・意匠の歴史性①	平安時代以前の自然観	
4	技術・意匠の歴史性②	夢窓国師の変革	
5	技術・意匠の歴史性③	小堀遠州のデザイン提案	
6	技術・意匠の歴史性④	七代目小川治兵衛（植治）の時代性と普遍性	
7	文化財庭園の保存修復	現代へのメッセージ	
8	技術・意匠の地域性①	江戸の大名庭園にみる地形の活かし方と水利（玉川上水、神田上水）	
9	技術・意匠の地域性②	江戸の大名庭園にみる石材	
10	技術・意匠の地域性③	新宿御苑日本庭園の地形の活かし方と水利	
11	技術・意匠の地域性④	新宿御苑日本庭園の石材利用	
12	技術・意匠の地域性⑤	小石川後楽園の地形の活かし方と水利	
13	技術・意匠の地域性⑥	小石川後楽園の石材利用	
14	技術・意匠の地域性⑦	金沢の兼六園にみる地形の活かし方と水利（辰巳用水）	
15	技術・意匠の地域性⑧	兼六園の石材利用と穴生の技術	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
資料配布

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
植治の庭—小川治兵衛の世界/尼崎博正編著/淡交社（1990）
風景を作る/中村一・尼崎博正/昭和堂（2001）
市中の山居—尼崎博正作庭集/尼崎博正/淡交社（2006）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート、課題提出

◆その他受講上の注意事項

1～7を尼崎が担当、8～15を小林が担当する。集中講義あり。庭園現地での講義あり。